

#02

ひとり暮らし部屋の間取り決定！

インテリアを検討するためにショールームへ

これまでに3回の座談会を行い、“GINGER世代にとって理想の住まいとは？”というテーマについて活発な意見交換を繰り返して、ついに間取り決定。今回は、その間取りに合わせて“部屋をどんなテイストで仕上げていくのがベストか？”という次なるテーマを前に、サンワカンパニーのショールームへ。展示商品を見ながら、“こんなインテリアがいいな”のリアルイメージを見つけてきました。

キッチンや共有部分はアンケートとモニターの声ですでにイメージをまとめ済みなので、今回は洗面台、収納、壁紙などの具体的ディテールについて考えてみることに。今回は、その様子をレポートしていきます。



決定した2つの間取り

前回の記事で公開した4つの間取りから、上の2つの間取りを採用することになりました。

モニター座談会では、

- ・水回りと寝室は分けたい
- ・しっかりとリラックスできる空間がほしい
- ・対面キッチンなら、L字型の方がいいかも
- ・やっぱり収納が一番大事

など具体的な意見をもらい、前回の図面を改良していきました。

右の図面のコンセプトは“セラピー”。まさに、リラックスをテーマにした空間作りに。バスルームの設備を充実させ、癒しと美肌のための機能を入れる予定です。また、ベッドルームとダイニングキッチンの仕切りはガラス扉にして開放感を演出するなど、部屋の中にも工夫を施します。

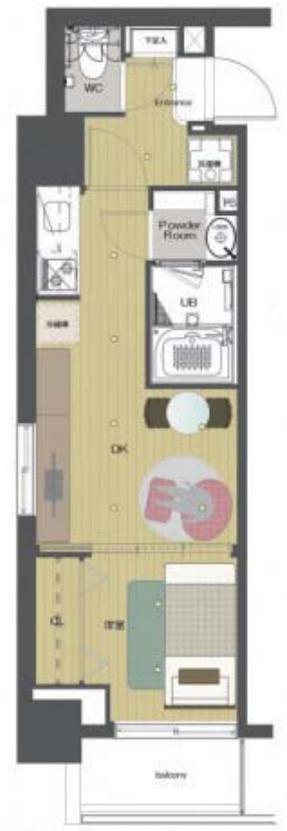
左の図面のコンセプトは“スキルアップ”。ウォークインクローゼットを取り入れることで収納を確保。趣味を存分に楽しめ、充実した時間を過ごせるような住まいをイメージしています。対面キッチンもこだわりのポイントです。

約25㎡というサイズのひとり暮らしの女性部屋に、できる限りのワガママを詰め込みました。2部屋ともに、寝室と居住空間を分けるという、新しい考え方の1DKタイプ。自分時間を充実させたい方にぴったりの部屋なのです。

“スキルアップ”



“セラピー”



モニターの皆さんにもショールーム見学の前に、決定した間取りについて報告し、情報をシェア。今回チェックすべき洗面台、クローゼット、壁紙などについてイメージをまとめつつ、さっそく見学をスタート。



●《洗面台》置き型ボウルタイプか 一体型スタンダードタイプか？

最初は洗面台のセレクトから。置き型ボウルタイプ(右)と、一体型スタンダードタイプ(左)を見比べながら、実際に使用するならどっち？をみんなで真剣にトーク。

置き型ボウルの方が

・おしゃれでテンションが上がる

という意見がある一方で、実際に使うとなると

・水はねが気になるかも？

・掃除が大変かも？

などの懸念も出てきたり。

しかし実は、洗面器の形状よりも皆さんが気にしていた点が…
洗面台回りの収納だったのです！

・鏡の裏が隠せる収納になっているところがいい
(しかも2面鏡になる！)

・洗面台の下は、収納スペースがマスト！

というリクエストが出て、収納がより豊富なタイプの洗面台を取り入れることになりそうです。



ボウル型か一体型か、洗い場のタイプについては2部屋あるので、それぞれに別のものを採用するかどうかを、この日の意見をもとに検討していくことになりました。

●《収納》クローゼットや 長押(なげし)について検討！

衣類や小物を機能的に収納できる棚や引き出し付きのクローゼットが設置された部屋も、最近は増えているようです。こちらについては、全員が「ぜひ使ってみよう」と回答。

しかし、くくりつけのクローゼットは、ワードローブにロングコートやロングスカートなどの長め丈のアイテムが多い女子目線で見ると「長め丈の服をハンガーでかけられるスペースが少ないかも…？」という声が聞かれました。さらに、バッグなどの小物の数は人によって差があるので、自分で棚の位置やスペースをカスタマイズできるタイプの方がうれしいという意見も。ここは取り入れるか否か、これから詰めていきたいと考えています。

長押(なげし)も好評！

長押とは、壁に取り付ける横木のこと。ハンガーなどをひっかけることができ、横木の下にはレールを取り付けることも可能。

・帽子の収納に役立ちそう

・コートを掛けるのにいいかも

など、あれば便利そうなので欲しいという意見で一致。これは採用を検討したいところです！

